

第3回定例会 の主な日程

令和2年第3回定例会は、以下の会期日程で開催されました。

- 9月4日(金) **本会議**
(開会、知事提出議案説明)
- 9月9日(水) **本会議**
(代表質問・質疑)
- 10日(木)
- 9月11日(金) **本会議**
(一般質問・質疑)
- 14日(月)
- 15日(火)
- 16日(水)
- 9月18日(金) **常任委員会**
- 23日(水)
- 9月24日(木) **本会議**
(予算関係議案常任委員長報告等)
- 9月25日(金) **決算特別委員会**
- 9月28日(月) **予算特別委員会**
- 9月29日(火) **魅力向上に関する調査特別委員会**
- 10月1日(木) **本会議**
(委員長報告、採決、閉会)

代表質問※(要旨)

**就任後四年目を迎える
知事の県政運営の基本姿勢**

議員 多方面に影響をもたらす施策を推し進める際には、県議会に丁寧な説明を行い、議論を通じて、県民の声を反映させていくべきである。四年目を迎える大井川知事は、一度立ち止まり初心に戻り、県議会と真摯に向き合い、よりよい新しい茨城づくりを一緒に目指して欲しいと考えるが、残りの任期を県議会とどう向き合っていくのか。

知事 ささまざまな行政課題に機動的に対応していくため、県議会と一体となってスピード感を持って効果的な施策を展開していく必要がある。引き続き、県議会とは連携・協力して政策議論を重ねながら、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現という共通の目標に向かって、ともに挑戦していきたい。



飯塚 秋男 議員
いばらき自民党
下妻市選出
一括方式

保健所の再編

議員 新型コロナウイルス感染拡大が迫る中、老朽化が激しい保健所庁舎の改築、更新を視野に入れて保健所の再編を検討しなければ、保健所の機能強化は机上の空論に終始してしまう。改めて保健所の機能強化・人員確保に向けた対応を検討すべきと考えるが知事の所見は。

知事 保健所への県庁職員の派遣や退職した保健師の雇用、市町村保健師の応援要請など、保健所の機能が十分果たされるよう努めてきた。保健所庁舎については、老朽化が進み修繕では「新しい生活様式」への対応が難しい庁舎もあるため、今年度中に「保健所庁舎の整備等に係る基本方針」を策定し、今後の社会情勢や地域実情の変化を踏まえながら整備を進めていく。

県西地域の将来像

議員 県西地域の輝ける夢のある未来図の実現に向けて、将来像を描く必要があると考えるが、県は、どのような方向性を示していくのか。

知事 地下鉄八号線の県内延伸の前提となる野田市までの延伸の早期事業化に向け、国に要望活動などを行っていく。県西縦断道路は沿線自治体が組織する協議会への参画を通じて、引き続き支援していく。砂沼サンビーチ跡地は持続的で魅力的な拠点となるよう検討していく。こうした取り組みにより、県西地域のポテンシャルを最大限発揮し、住みたい地域として、また、観光や投資の対象として県内外の方々から選ばれる地域となるよう全力で取り組んでいく。

感染症対策を踏まえた 複合災害対策

議員 感染拡大との複合災害が懸念される中、甚大な被害が広域的に発生した場合には、市町村単独で対応することは極めて困難である。市町村域を超えた広域避難所の設置などを視野に入れ、県は市町村にどのような支援策を講じていくのか。

知事 広域避難については、国や県、流域市町村で構成する「鬼怒川・小貝川減災対策協議会」



県西地域と首都圏をつなぐ圏央道(常総IC付近)

において大規模水害時の広域避難に係る協定を締結したので、他の主要河川の協議会でも導入を働き掛けている。また、茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合と「災害時における宿泊施設等の提供に関する協定」を締結し、ホテルや旅館を広域的な避難施設として活用するなど、市町村の災害対応を支援していく。(ほかに、本県農業の担い手確保や小中学校における学校行事への不安解消なども質問)

質問者

議場での質問の様子は、こちらから録画映像でご覧いただけます



9月9日(水) 飯塚 秋男 (いばらき自民党)

9月10日(木) 田村 けい子 (公明党)

9月9日(水) 設楽 詠美子 (県民フォーラム)

茨城県PCR検査の方針と支援

議員 不特定多数の人と接することが避けられない業種、特に医療や介護・保育などに従事する方が定期的にPCR検査を受けられる体制を整備し、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る必要があるが、所見は。

知事 医療機関や高齢者施設の従事者を対象とした定期的な検査の実施を検討している。希望により全額自己負担での検査環境整備の方針が国から示されたが、国の負担による行政検査としての実施を働き掛けていく。



設楽 詠美子 議員
県民フォーラム
県西市選出
一括方式

障がい者の就労支援

議員 本県は障がい者の雇用率と福祉的就労の工賃が全国下位の状況にある。障がいのある方も地域社会で生涯を安心して暮らせるよう、社会参加の促進と安定的な生活の維持に不可欠である、働く場の確保と工賃向上を今後どう進めていくのか。

知事 茨城労働局と連携して法定雇用率未達成企業の個別訪問を強化するとともに、優良企業に対しては、県主催の就職面接会への優先参加などで障害者を積極的に雇用する企業を支援する。工賃向上は、農福連携の推進や市町村などへの訪問活動強化でさらなる優先調達に努める。併せて、最低賃金に準ずる仕組み導入について検討を進める。

いばらき家の愛を育む里親推進

議員 県民を一つの家族「いばらき家」と捉えて助け合うことが重要である。生みの親の下で育つことができない子どもたちが、温かな愛情の中で育つ環境を整えていくためにも里親委託の推進は不可欠である。また、速やかな里親の登録または認定に結びつくよう審議会の回数増を提案するが、所見は。

知事 登録里親を増加させるため、積極的な周知広報や説明会の資質向上にも取り組む。長期的に実親の養育が望めない新生児などの場合は、児童相談所で養子縁組の検討を進めていく。親族里親の認定は、必要に応じた臨時的な審議会も検討していく。

(ほかに、新型コロナウイルス感染症に係る偏見・差別の予防対策、いばらきの梨「恵水」のブランド育成、「地方からジェンダー平等を」選択的夫婦別姓なども質問)



里親委託の推進を

※【代表質問】…会派を代表して行う質問を代表質問といいます。茨城県議会の場合には、4人以上の会派が代表質問を行うことができます。なお、議員個人の立場で行う質問を一般質問といいます。